



Power over Ethernet の設定

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [Power over Ethernet の設定について, 1 ページ](#)
- [Power over Ethernet の設定方法, 2 ページ](#)
- [Power over Ethernet の設定例, 4 ページ](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

Power over Ethernet の設定について

Lightweight モードに変換されたアクセス ポイント (AP1262 など) アクセス ポイントが Cisco pre-Intelligent Power Management (pre-IPM) スイッチに接続されたパワー インジェクタで電源を供給されている場合、インラインパワーとも呼ばれる Power over Ethernet (PoE) を設定する必要があります。

Power over Ethernet の設定方法

Power over Ethernet の設定（CLI）

手順の概要

1. `ap name Cisco_AP power injector installed`
2. `ap name Cisco_AP power injector override`
3. `ap name Cisco_AP power injector switch-mac-address switch_mac_address`
4. `show ap name Cisco_AP config general`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ap name Cisco_AP power injector installed 例： <pre>Switch# ap name AP02 power injector installed</pre>	<p>PoE パワー インジェクタ状態をイネーブルにします。アクセス ポイントは、パワー インジェクタがこの特定のスイッチ ポートに接続されていることを記憶します。アクセス ポイントを再配置する場合、新しいパワー インジェクタの存在を検証した後で、このコマンドを再度入力する必要があります。</p> <p>(注) ネットワークに、12 W アクセス ポイントへ直接接続すると過負荷を発生する可能性のある、従来のシスコ 6 W スイッチが装備されている場合には、このコマンドを入力します。このコマンドを入力する前に Cisco Discovery Protocol (CDP) がイネーブルになっていることを確認します。有効になっていない場合、このコマンドは失敗します。</p>
ステップ 2	ap name Cisco_AP power injector override 例： <pre>Switch# ap name AP02 power injector override</pre>	<p>セーフティチェックを解除し、アクセスポイントが他のスイッチポートに接続できるようにします。ネットワークに、12 W アクセスポイントに直接接続すると過負荷を発生する可能性のある従来のシスコ 6 W スイッチが装備されていない場合は、このコマンドを使用できます。アクセス ポイントは、パワー インジェクタが常に接続されていることを前提としています。アクセス ポイントを再配置した場合も、パワー インジェクタの存在を前提とします。</p>
ステップ 3	ap name Cisco_AP power injector switch-mac-address switch_mac_address 例： <pre>Switch# ap name AP02 power injector switch-mac-address 10a.2d.5c.3d</pre>	<p>パワー インジェクタが設置されたスイッチ ポートの MAC アドレスを設定します。</p> <p>(注) 接続スイッチ ポートの MAC アドレスがわかっていて、[Installed] オプションを使用して自動的に検出しない場合は、このコマンドを入力します。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	show ap name <i>Cisco_AP</i> config general 例： <pre>Switch# show ap name AP02 config general</pre>	特定のアクセス ポイントの PoE 設定を含む共通の情報を表示します。 (注) アクセス ポイントが最大電力で動作していない場合、[Power Type/Mode] テキスト ボックスには、「degraded mode」と表示されます。

Power over Ethernet の設定 (GUI)

- ステップ 1** [Configuration] > [Wireless] > [Access Points] > [All Aps] の順に選択します。
[All Aps] ページが開き、スイッチと関連付けられたアクセス ポイントのリストが表示されます。
- ステップ 2** アクセス ポイントの名前をクリックします。
[AP] > [Edit] ページが表示されます。
- ステップ 3** [Advanced] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Power Over Ethernet Settings] 領域で、[Pre-standard 802.3af Switches] チェックボックスをオンにします。
Pre-Standard 802.3af Switches
アクセス ポイントが高電力の 802.3af シスコ スイッチで電源投入されている場合は、このチェックボックスをオンにします。これらのスイッチは従来の 6 ワットを超える電力を供給しますが、Intelligent Power Management (IPM) 機能をサポートしません。

(注) パワーインジェクタによって電力が供給されている場合は、[Pre-standard 802.3af Switches] チェックボックスをオフにします。これはデフォルト値です。
- ステップ 5** [Power Injector State] チェックボックスをオンにします。
付属のスイッチが IPM をサポートせず、パワーインジェクタが使用されている場合は、このチェックボックスをオンにします。付属のスイッチが IPM をサポートしている場合、このチェックボックスをオンにする必要はありません。

[Power Injector Selection] ドロップダウンリストが表示されます。ここには、パワーインジェクタが過失によりバイパスされた場合にスイッチポートが突発的に過負荷にならないように保護することのできるパラメータが含まれます。
- ステップ 6** [Power Injector Selection] ドロップダウン リストから、必要な保護のレベルを選択します。
次の 3 つのオプションから選択できます。
- **Installed** : 現在接続されているスイッチポートの MAC アドレスを点検して記憶し、パワーインジェクタが接続されていることを想定します。ネットワークに従来のシスコ 6 W スイッチが装備されていて、再配置されたアクセス ポイントを強制的にダブルチェックしたときに発生する可能性のある過負荷を避けたい場合に、このオプションを選択します。

スイッチの MAC アドレスを設定する場合は、[Injector Switch MAC Address] テキストボックスに MAC アドレスを入力します。アクセスポイントにスイッチの MAC アドレスを検知させる場合は、[Injector Switch MAC Address] テキストボックスは空白のままにします。

(注) アクセスポイントが再配置されるたびに、新しいスイッチポートの MAC アドレスは記憶した MAC アドレスとの一致に失敗し、アクセスポイントは低電力モードのままになります。その場合、パワーインジェクタの存在を物理的に検証し、このオプションを再選択して新しい MAC アドレスを記憶させます。

- **Override** : アクセスポイントは最初に MAC アドレスの一致を検証しなくても、高電力モードで稼働できます。ネットワークに、12 W アクセスポイントへ直接接続すると過負荷が発生する可能性がある、従来のシスコ 6 W スイッチが装備されていない場合には、このオプションを選択できます。このオプションのメリットは、アクセスポイントを再配置した場合、設定しなおさずに高電力モードで稼働を継続できることです。このオプションのデメリットは、アクセスポイントが直接 6 W スイッチへ接続されていると、過負荷が発生することです。

ステップ 7 [Apply] をクリックします。

ステップ 8 [Save Configuration] をクリックします。

次の作業

手動でアクセスポイントをリセットして、変更を適用します。

Power over Ethernet の設定例

Power over Ethernet 情報の表示 : 例

次に、特定のアクセスポイントの PoE 設定を含む共通の情報を表示する例を示します。

```
Switch# show ap name AP01 config general

Cisco AP Identifier..... 1
Cisco AP Name..... AP1
...
PoE Pre-Standard Switch..... Enabled
PoE Power Injector MAC Addr..... Disabled
Power Type/Mode..... PoE/Low Power (degraded mode)
...
```